

現状と課題

- 高浜市への外国人の方の転入は年々増加を続け、現在では愛知県内でも総人口に占める外国人割合は県内でもトップクラスとなり、多言語化も進んでいる。それぞれの児童生徒に応じたきめ細やかな指導が必要となっている。
- 早期適応教室での初期の日本語指導の体制が整備されてきている中で、日常会話ができるようになった児童生徒でも、授業や教科書の内容までしっかり理解できているとは限らず、進学への道はまだまだ厳しいのが現状。
- こうした現状を打破すべく、外国人児童生徒等の受け入れ環境の整備を進めるためには、日本語早期適応教室の指導員や多言語の通訳の充実を図るとともに、1人1台配付されたタブレットなどの活用により、効率的に支援・指導を行うことが必要不可欠

